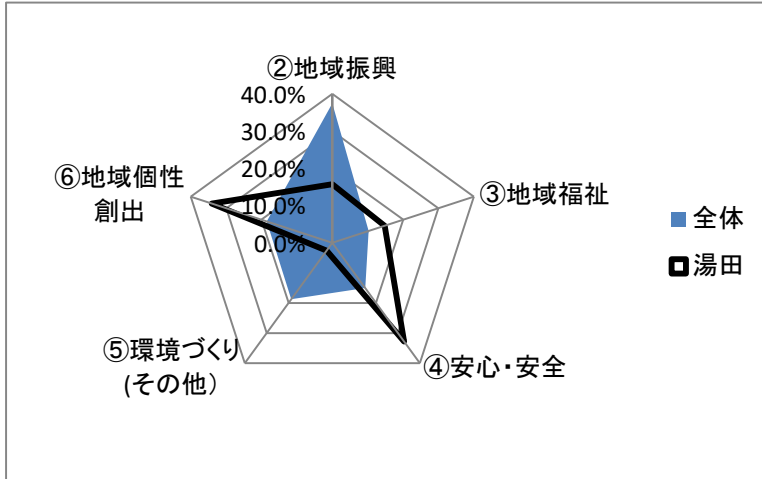


湯田地区コミュニティ運営協議会 地域づくり交付金事業概要(令和2年度)

■地域の情報

| | | | |
|------|---------|--------|-------|
| 地域人口 | 12,974人 | 自治会数 | 15 |
| 世帯数 | 6,239世帯 | 自治会加入率 | 73.4% |

※数値は、令和3年4月1日のもの



■決算状況

| | |
|------------|--------------|
| 交付金配分枠 | 10,227,000 円 |
| 交付金決算額 | 10,151,191 円 |
| その他収入 | 35 円 |
| 交付金決算額／配分額 | 99.3% |

各分野の決算

| | |
|--------------|--------------|
| ①協議会運営 | 3,838,516 円 |
| ②地域振興 | 604,494 円 |
| ③地域福祉 | 568,700 円 |
| ④安心・安全 | 1,261,550 円 |
| ⑤環境づくり(土木工事) | 2,468,000 円 |
| ⑤環境づくり(その他) | 100,000 円 |
| ⑥地域個性創出 | 1,309,966 円 |
| 決算総額 | 10,151,226 円 |

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「優しく、美しい、誰もが、安心するまちづくり」をキャッチフレーズに、第2次地域づくり計画の最終年であり、その評価と課題を整理して、第3次計画に生かしていきます。

■総括

第2次地域づくり計画の最終年度でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、分野ごとの事業が思うように取り組むことができませんでした。来年度以降については、地域の3大イベントである「大運動会」に「安心安全フェスタ」、そして「ふるさとまつり」を中心にコロナ対策をしっかりと行ったうえで開催していきたいと考えています。また、来年度が第3次地域づくり計画のスタートの年度となることから、本計画を軸として地域課題解決に向け取り組んでいきたいと思ひます。

■分野別事業名

| | |
|----------|--|
| ① 協議会運営 | 事務局の運営体制 |
| ② 地域振興 | 広報活動、地域づくり研修、公共ニーズの把握、体育振興事業 |
| ③ 地域福祉 | 高齢者福祉事業、要支援者支援事業、子ども福祉事業、人権学習の推進 |
| ④ 安心・安全 | 防災・減災活動等への推進、防犯活動の推進、交通安全活動等の推進、子どもの見守り活動、反射鏡設置等補助事業、安全設備の設置 |
| ⑤ 環境づくり | 法定外公共物整備事業、環境美化活動、湯田中VS活動 |
| ⑥ 地域個性創出 | 湯田ふるさとまつり、湯田の歴史発掘 |

■重点的に取り組んだ事業

| | | | | |
|---|--------|--|-----|------------|
| ① | 事業名 | 湯田ふるさとまつり | 決算額 | 1,275,880円 |
| | 目的 | 地域団体の学習発表及び地域住民の交流を図ること。 | | |
| | 実施内容 | 来年度以降の開催に向けてのコロナ対策を踏まえた備品購入。 | | |
| | 実施時期 | — | | |
| | 参加人数 | — | | |
| | 成果 | コロナ対策に向けた必要な備品購入ができた。 | | |
| | 評価 | コロナ対策に向けた必要な備品購入ができたことにより、来年度以降の開催に向け取り組んでいくことができる。 | | |
| | 今後に向けて | コロナ対策を十分取り組んだ上で、目的達成に向け事業を展開していく。 | | |
| ② | 事業名 | 防災・減災活動等への推進事業 | 決算額 | 833,550円 |
| | 目的 | 安心・安全に対する意識の高揚を図ること。 | | |
| | 実施内容 | 来年度以降の安心・安全に係るイベント開催に向けての備品購入。 | | |
| | 実施時期 | — | | |
| | 参加人数 | — | | |
| | 成果 | イベント開催に向け必要な備品購入ができた。 | | |
| | 評価 | 必要な備品購入ができたことにより、来年度以降のイベント開催に向け取り組んでいくことができる。 | | |
| | 今後に向けて | 来年度以降も安心・安全に対する意識の高揚を図るとともに、啓発と備えについても併せて取り組んでいく。 | | |
| ③ | 事業名 | 地域づくり関係 | 決算額 | 325,283円 |
| | 目的 | 第3次地域づくり計画の策定 | | |
| | 実施内容 | 第3次地域づくり計画(令和3年度～7年度)の策定 | | |
| | 実施時期 | 令和2年度中 | | |
| | 参加人数 | 15名(策定委員12名、事務局・センター職員3名) × 5回 | | |
| | 成果 | 来年度以降5ヶ年度の充実した事業計画が策定できた。 | | |
| | 評価 | 来年度以降5ヶ年度の充実した事業計画が策定できたことにより、地域課題解決に向けて取り組んでいくことができる。 | | |
| | 今後に向けて | 第3次地域づくり計画を軸として地域課題解決に向けた事業展開を図っていく。 | | |